

「東京都の保護上重要な野生生物種」情報記入シート

①生物名	フジバカマ Eupatorium Fortunei Turcz
②確認年月日	2016年9月8日
③確認場所	非公表
④確認方法	目視により、下記、特徴を確認した。 ①草丈は、高いものでは約170cmになる。 ②葉は羽状脈で、葉柄があり、対生。草丈が130cm以上に成長したのものには、3裂の葉が多く観察出来るが、草丈の低いものには、3裂の葉の観察できるものは少ない。葉に腺点がない。 ③茎は無毛。 ④頭花は、散房状に多数つき、小花は5個。 ⑤葉を乾燥すると、桜餅の葉のような良い匂いがする。 ⑥根茎は、確認せず。(保全上の理由で)
⑤生息・生育状況の概要	①多摩川の支流である野川の高水敷と管理用通路の間の法面(護岸)に生育している。 ②水潤な環境ではあるが、増水時には冠水しないと見える法面の範囲に、主に自生している。 ③日照は、午前中はあるが、午後は樹木の影になり、日が当たらない。 ④河川管理者である東京都北多摩南部建設事務所により、野川は年3回草刈りが行われるが、フジバカマがよく自生している範囲約120㎡(約4m x 約30m)を、ゾーニングして、平成24年より都による草刈りを除外していただいております、その代わりに、報告者がフジバカマを残して草刈りを実施している。 ⑤都による草刈りの除外がスタートした平成24年の秋にはじめて花を確認できた。その花にくるアサギマダラの姿を、平成24年、平成25年、平成27年に確認している。
⑥その他	①最初に野川のフジバカマに気づいたのは、平成23年8月に根本正之先生のご指導を頂き実施した「環境講座野川の外来植物を考える」のフィールドワークの際でした。 ②フジバカマの正確な同定については、近縁種が多いので、報告者にはとても困難で、植物分類の専門家をお願いする必要がありますと考えています。出来れば、神代植物公園植物多様性センター経由で、同定を専門家をお願い出来れば有難いです。

③植物標本については、平成 28 年 2 月神代植物公園植物多様性センターの講座で、牧野標本館の加藤英寿先生のご指導をいただいたので、是非作成したいと考えております。

④参考に、下記の写真を添付します。

a)フジバカマ・ゾーンの様子（平成 27 年 10 月 6 日撮影）



b)フジバカマの開花の様子（平成） 27 年 9 月 3 0 日撮影）



c)フジバカマの葉の様子（3 裂）（平成 28 年 9 月 6 日撮影）



d)フジバカマの頭花に止まるアサギマダラ (平成27年9月30日撮影)



可能な限り、回答した生物の判定根拠となる写真（電子データでも可）を添付してくださいようお願い致します。

お名前	安達 榮一	電話	
ご住所			
E-mail			
所属等（職場や市民団体等）			

ご記入いただいた内容は、野生動植物保護の目的以外に使用することはありません。

また、情報の内容について問い合わせをさせていただく場合がございますので、ご了承ください。

【担当】

東京都環境局自然環境部計画課計画担当 宮島
〒163-8001

東京都新宿区西新宿 2-8-1 第二本庁舎 22 階

TEL : 03-5388-3548 FAX : 03-5388-1379

E-mail : Seiya_Miyajima@member.metro.tokyo.jp